



# 学校だより

令和4年7月8日 NO. 20  
尼崎市立金楽寺小学校  
校長 中根 孝介



## ♪ ささのほ、さらさら～♪

昨日、七月七日は七夕の日でした。多くの方がご存じのお話に「織り姫と彦星の物語」があります。夜空は見上げられましたか？あいにく、昨夜は雲が広がり、織り姫と彦星は見るできませんでした。時間帯によっては、運良く見ることができた方もおられるかもしれません。織り姫星は、こと座の一等星ベガ、彦星はわし座の一等星アルタイルのことです。二つの星の間には、天の川が横たわっているように見えます。とはいっても、光害（夜の街中の不要な灯りによる公害）のため、都市部では天の川が見えることは、ほとんどありません。天の川は、見えなくてもベガとアルタイルという二つの一等星は、尼崎でも十分に観ることができます。今頃の季節でしたら、午後8時頃、周りの星より明るい星が東よりに三つ見えるかと思います。この三つの星が、織り姫（ベガ）と彦星（アルタイル）に加えて、はくちょう座のデネブという一等星で、「夏の大三角」と呼ばれています。スマホなどのアプリや Web サイトでも検索して、星座や星を確認できます。天気の良い日にお子さんと夜空を眺めてみるのもよいかもしれません。ちなみに、13日の夜は満月（正確には14日の未明ごろが満月の瞬間）で、今年見える月で最大の大きさに見え、「スーパームーン」とも呼ばれています。

さて、七夕に先立ち、6日に金楽寺小学校でも、ファミリー活動（1年生から6年生までの縦割りグループでの活動）で七夕を楽しみました。各教室に、ファミリーと呼ばれる異学年の子どもたちがグループ毎に集まり、七夕の願い事を書いたり、飾りをつくったりしました。「ささのほ、さらさら～♪」と校内放送で音楽が流れる中、ひとときを楽しみました。

願い事をそっとのぞいてみると「平和になりますように」「プロ野球選手になれますように」「コロナが早く終わりますように」「テストの点が上がりますように」・・・などなど、様々でした。普段とは違う学年が異なるグループでの活動ですので、高学年の子どもたちがリードしてたのはさすがです。年齢の異なる子どもたちがふれあい、活動することで、自然とリーダーシップやフォロワーシップが育ち、思いやりの心も育まれていくのではないのでしょうか。



みんなのねがいごとがかないますように・・・